

中山市長・金田議長

山本防衛副大臣への要請活動（速報・未定稿）

日時：令和2年8月12日（水） 午前10時45分～

場所：防衛省（東京都新宿区市谷本村町5-1） 副大臣室

要請先：山本 ともひろ 防衛副大臣

要請実施者：中山 泰 市長 ・ 金田 琮仁 市議会議長

要請内容：米軍の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等に関する要請

【中山市長からの要請概要】

- ・本日はコロナ禍の状況ではあるが、どうしても直接お伝えしたく参りました。
- ・米軍関係者・関連陽性確認者が、令和2年7月27日に初めて確認されてから今日までの短期間で13人にまで増えていることは当地域にとって“衝撃的”です。
- ・去る8月4日には関係者全員のPCR検査をお願いしましたが、それから既に1週間も経っているにも関わらず、軍人や基地で働く日本人については検査されましたが、軍属全員の検査完了には至っていません。
- ・（本日の面会で）18日までには軍属のPCR検査を終えるとのことをお聞きしましたが、当初のお願いから2週間も経っています。
- ・当地の米軍人・軍属関係者は、全員が基地外部の民間施設に居住し、一般住民社会と生活空間が一緒であるので、感染拡大への住民不安が広がらざるをえない状況です。
- ・残る関係者全員のPCR検査を一刻も早く実施していただくとともに、結果が出るまでは外出の自粛を徹底していただきたい。
- ・その間、情報開示の徹底もお願いしつつ、防衛省の責任で、全省あげて米軍と共に実現をしていただきたい。

- ・情報開示の点でお願いしたいのは、京都府からお聞きする限りでは、軍属 6 人の濃厚接触者に関する情報を得たいということをお願いしても、なかなか出てこないという状況があります。
 - ・軍属の方に 6 人感染者が出ましたが、その方々の濃厚接触者の情報を求めても、なかなか出てこなくて困っています。
 - ・日本側が PCR 検査をした方ではなくて米軍側が検査をした方について、さらなる濃厚接触者の情報がなかなか出てこないということがありますので、是非改善をお願いしたい。

- ・現在、PCR 検査をやっていただいているが、1 回やったからそれでいいのかということがあります。定期的に PCR 検査をしていただけるような仕組みの導入を検討いただきたい。

- ・交通事故の案件が 7 月にありました。飲酒案件でしたが、2 度と起こらないよう要請した経過があります。そういった案件をはじめとして、いろいろ続いているので、平成 25 年 9 月、当時の小野寺大臣にお願いした安全・安心の条件がありますが、この機会に網羅的に検証して、今の状況に合わせて、条件のアップデートも含めて全体的に検証して、確認して、徹底していただきたい。
 - ・交通事故の報告が逐一の報告じゃなくなっていますが、どういうものを報告して、どういうものを報告しないのかというルールの特明確化をしてほしいという要請をしています。
 - ・みんなで客観化できるようどういうふうにするかという点も求めていきたいと考えています。
 - ・基地への居住が年度末前後から始まるというタイミングでもありますし、排水の水質の件もあり、いろんな案件を網羅的な検証をこの際をお願いしたい。

- ・住民としては仲間。住民として仲良く共有することがお互いの安全・安心につながると考えています。異国から知らない土地に来て生活している方々も不安なわけですから、その安心を作っていくことがお互いの安全・安心につながると思っていますので、そういう環境もいろんな形で作っていききたい。

【金田議長からの要請概要】

- ・山本副大臣においては、京都ご出身とお伺いしている。X バンドレーダー基地に関してはよくご理解いただいているところと考えています。
 - ・私は、住民の方の不安が強くなりますので、今日は市長と一緒に要望にお伺いしました。
 - ・そもそも基地が平成 26 年に整備された際には、特に保守系の議員は日本の安全保障面において積極的に賛成をさせていただいた。

- ・また、軍人・軍属の方々とも良き隣人としていろんな交流・連携事業をさせていただいています。
- ・だんだんと交流が深まりつつある時にこのコロナの問題が発生した。ですからものすごく心配しています。
- ・地元の袖志・尾和の地域が生活空間をともにしているという点が心配です。

【防衛副大臣コメント】

引き続き、感染拡大防止に必要な措置が円滑に実施できるよう、政府、関係自治体、在日米軍と連携してしっかり対応すること、及び、交通事故報告の客観的ルール化についても安全安心対策連絡会などの場で議論したい。

令和2年8月12日

防衛大臣 河野 太郎 様

京丹後市長 中山 泰
京丹後市議会議長 金田 琮仁

米軍経ヶ岬通信所及び関連施設における緊急措置等の要請について

新型コロナウイルス感染症に関し、本市に所在する米軍経ヶ岬通信所及び関連施設に勤務等する米軍関係・関連陽性確認者が、令和2年7月27日に発生して以来、本日までに、13人にのぼる米軍人・軍属等関係の陽性者が確認されました。

同施設に勤務する米軍人・軍属関係者は、沖縄など米軍基地内に居住・生活関連施設が所在するケースと異なり、関係者全員が基地外部の民間施設に居住し、一般住民社会と生活空間・活動を共にしているため、関係者の陽性確認が大幅に急増する中で、このままでは感染拡大防止への住民不安が広がらざるを得ません。

また、7月7日には、軍属関係者による酒気帯び運転という悪質な交通事故事案が書類送致されるなど、住民の安全・安心の確保の全般について、この機会に網羅的な検証と必要な対応策の確認・徹底を行っていくことが欠かせません。

このため、以下のとおり、貴職に対して強く要請し、速やかな対応を求めます。

記

- 1 米軍経ヶ岬通信所及び関連施設に勤務するすべての米軍人・軍属及び日本側基地従業員・一定の接触が確認される市民に対するPCR検査を、京都府保健当局とも十分に情報共有・連携を行い、一刻も早く実施・完了し、万全な隔離・入院等を行うこと。
- 2 上記1の実施に際しては、必要なPCR検査を終えるまでの間は、外出自粛の徹底等、万一の感染予防と住民不安の払しょくに万全に努めること。また、PCR検査等の実施状況について、納得できる必要十分な情報開示を行うこと。
- 3 新しい生活様式や外出自粛など感染防止対策を改めて徹底すると共に、その他基地内外への感染防止のための必要な措置を、防衛省と米軍の責任において実現を図ること。
- 4 基地運用開始以来の住民の安全・安心の確保のための全・各条件等についての総合的な検証をこの機会に行い、交通事故報告の客観的ルール化はじめ必要な確認・新規措置等を策定し、今後の確実な運用の徹底を図ること。

以上



